

桜「春めき」髪に香り いち髪シリーズ

* 売り上げの一部は寄付へ

生活用品販売大手「クラシエホームプロダクツ」(東京都港区)は、早咲きの桜「春めき」の香りを再現したシャンプーとコンディショナーを今月発売した。売り上げの一部は、視覚障害者を支援する一般財団法人「春めき財団」(南足柄市)に寄付される予定で、財団理事長で春めきを品種登録している古屋富雄さん(66)は「商品を通して社会貢献の輪が広がってほしい」と話している。

発売したのは「いち髪 シャンプー&コンディショナー(春めきの香り)」(セット参考価格は税込み7980円)。「山桜の香り」

で親しまれてきたいち髪シリーズのラインアップに季節限定商品として加わった。

春めきは、古屋さんが彼岸桜の枝変わりとして約20年前に発見。接ぎ木や挿し木で増殖し、2000年に品種登録した。3月中旬か



シャンプーやコンディショナーは「春めきと同じ香り」と話す「春めき財団」の古屋理事長

ら咲き始め、たくさんの花と甘い香りが特徴だ。目の不自由な人も春を楽しんでもらえると、翌年から県内外の視覚障害者支援団体や市町村に苗を寄贈してきた。

この香りに着目した香料メーカー「長谷川香料」(東京都中央区)が香りを再現。提供先のクラシエと最適な調合を目指して試行錯誤を続け、約2年かけて古屋さんも納得する香りに仕上げた。

クラシエは「春めきを通じて、目の不自由な方にも桜の香りで『春』の雰囲気味わってもらおう」という財団の理念に賛同した」と商品化の狙いを話す。パッケージには「売り上げの一部で春めき財団の活動を応援する」と記載されており、「寄付以外にできることを財団と相談しながら進めていきたい」と話している。